第３学年　国語科学習指導案

３年３組　　２７名
指導者　杉　原　恭　子

１　単元名　　味わおう！　ミラクル大豆

２　単元設定の理由

３年生になり，国語科においては『ありの行列』で，段落ごとに内容を読み取ったり，段落相互の関係を考えたりしながら読み進める楽しさを味わった。また『おもしろいもの，見つけた』では，取材カードを作って段落ごとに事柄を分け，全体の組み立てを考えながら文章に書くことに意欲的に取り組んだ。児童は「書く」活動に意欲的な者も多く，ある程度の分量の文章を事柄の順序に従って書くことができる。反面，内容的な深まりは十分とは言えず，説明文を自力で論理的に読み取ったり，中心をはっきりさせて書いたり，有効に段落分けして書いたりする力はまだ十分身に付いているとは言えない。

以上のような学習者の実態を念頭に，本単元では『すがたをかえる大豆』で読み取りの学習をし，そこで知り得た事実をもとに実際に大豆の加工食品づくりを体験する。そして，自分の体験やゲストティーチャーの説明，インタビューなどから分かった事柄をまとめて作り方の説明書(レシピ)を書き，日頃から交流の多い４年生に紹介しようというものである。学級園で大豆を育てるのは初めてのことで，４年生も関心をもっている。ゲストティーチャーを招いての調理活動は,「総合的な学習の時間」(藍住町いま・むかし～食べ物編～)に行う。学習内容が幅広く多岐にわたる単元であるため，学習者の意欲や興味が持続するよう，多様な学習活動を取り入れながら，学習者個々の個性が発揮できるよう支援したい。また，効果的な相互評価の場面も設定し，学習活動を通して互いのよさを学び合い，影響を受け合いながら学習を進められるよう，指導を工夫したい。

本時の学習では，完成した「ミラクル大豆レシピ」を互いに読み合い，文の書き方や紙面の使い方に目を向けて，それぞれの表現の工夫やよさに気付かせ，それらを伝え合わせることで互いに認め合い，一人一人に自信と成就感を味わわせたい。また，相互評価した内容を手がかりにして，自分の説明書のよさが伝わるような紹介のことばや仕方を,「ミラクル大豆レシピ」の紹介をするという目的意識をもって考えさせたい。これらの活動を通して，大豆のすばらしさを４年生に紹介しようという意欲を高めていきたい。

３　単元の目標

（１）学習者の活動目標

○　ミラクル大豆のレシピを紹介しよう。

（２）指導目標

○　聞いたり体験したりしたことを，興味・関心をもって主体的に説明書に書こうとしている。

○　できあがった説明書をもとに，説明を加えたり感想を述べたりすることができるようにする。

○　聞いたり体験したりしたことから書く事柄を集め，メモをもとに説明書を書くことができるようにする。

○　中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え，内容を読み取ることができるようにする。

○　小見出しや段落，横書きのきまりなどを理解して書くことができるようにする。

４　本単元における評価について

能力	評価規準	子どもがことばの力を身に付けた姿の一例	評価の資料
関心・意欲・態度	聞いたり体験したりしたことを，興味・関心をもって主体的に説明書に書こうとしている。	・「十分に満足できる」状況 説明書作りにたいへん興味をもって，手順カード・工夫カード・感想カードをたくさんそろえ，意欲をもって説明書を書こうとしている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 学習の手引きを用意して，手順通りにカードを書くことができ，活動意欲をもつことができるようにする。	・手順カード ・工夫カード ・感想カード ・説明書を書いている様子
話す・聞く能力	できあがった説明書をもとに説明を加えたり，感想を述べたりしている。	・「十分満足できる」状況 相手の反応を確かめながら説明書の説明をしたり，友だちの説明のよいところによく気づいたりしている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 説明書をそのまま読まず，ポイントをしぼって説明ができるように助言する。また，友だちの説明を意欲をもって聞くことができるように，項目ごとのふりかえりカードを用意する。	・紹介の様子 ・ふりかえりカード
書く能力	聞いたり体験したりしたことから書く事柄を集め，メモをもとに説明書を書いている。	・「十分満足できる」状況 小見出しを効果的に使ったり，段落に分けたりして，手順を分かりやすく，また，興味をひくように書いている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 学習の手引きを提示したり，教師がいっしょに考えたりしながら，順序をおさえた説明書を書くことができるようにする。	・手順カード ・工夫カード ・感想カード ・説明書
読む能力	中心となる語や文をとらえて段落相互の関係を考え，内容を読み取っている。	・「十分満足できる」状況 文章構造が「初め」「中」「終わり」の三つに分けられることを理解し，内容を整理して読み取っている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 学習の手引きを使って，段落ごとに大事なことばや文に注目しながら，まとめることができるようにする。	・発言 ・学習の手引き
言語事項	小見出しや段落，横書きのきまりなどを理解して書いている。	・「十分満足できる」状況 小見出しや段落，横書きのきまりをよく理解して，自分の力で書いている。 ・「おおむね満足できる」状況にするための指導 教師とともに，大事なことを短く分かりやすいことばに置き換えて小見出しを考えたり，段落に分けて書いたりしていくことができるようにする。	・説明書

５　学習計画（全１８時間）

学習活動と指導(★)	学習者の意識の流れ	身に付けさせたい力
1 学習計画を立てる。（1時間） ★春にまいた種から大豆が実っていることに注目させ，自分たちの食生活と大豆との関わりに，疑問や興味をもつことができるようにする。	学級園の大豆が茶色くなったよ。枯れてしまったのかな。 えっ，これがきなこになるんだって。 このかたい豆を食べていたのかな。 変身の秘密を知りたいな。 ４年生は大豆を育てていないので，教えてあげたいな。 「ミラクル大豆レシピ」を作ろう。	
2「すがたをかえる大豆」を読み，大豆を食べる工夫を知る。（6時間） ★段落やキーワードに注意して，大豆をおいしく食べる工夫を読み取ることができるようにする。	大豆の変身を知ろう。 大豆はいろいろな食べ物に変身していたんだな。 わたしも作ってみたいな。 昔から，家ではどのように作っていたのかな。	[読]中心となる語や文をとらえる。 [読]段落相互の関係をとらえる。 (発言・学習の記録)
総合的な学習の時間 「藍住町のいま・むかし」 ～食べ物編～	大豆を使って作ろう，食べよう。 本当に大豆はいろいろな食品に使われていたんだね。 作り方の手順や大切なことをメモしておこう。 みんなにも教えてあげたいな。	
3　体験や取材をもとに説明書(レシピ)を書く。（9時間） ★実際の説明書から様々な工夫を見付け，自分も作ってみたいという意欲がもてるようにする。 ★手順・工夫・感想に分けてカードを書くことができるようにする。 ★情報カードを並べたり整理したりして，分かりやすい説明書が書けるよう助言する。 ★相手の心を引き付けるような楽しいキャッチコピーを考えることができるようにする。	説明書の作り方を知って「ミラクル大豆レシピ」にいかそう。 横書きってどう書くのかな。 横書きって読みやすいな。 横書きの書き方が分かったよ。早く書いてみたいな。 ４年生に読んでもらえるように書きたいな。 作り方のメモを手順ごとに分けて書いておこう。 ちょっとしたコツや大切なところは色分けして書くと分かりやすいね。 作ったときの気持ちも書いておくといいかな。 みんなが作ってみたくなるようなレシピにしよう。 手順ごとに番号を付けるとよく分かるよ。 小見出しを付けてみよう。 絵も入れると楽しいな。 レシピができたので題をつけよう。 キャッチコピーを作って題にしよう。 発表の練習も早くしたいな。	[書]読んだり聞いたり調べたりしたことから，書く事柄を集める。 (手順・工夫・感想カード) [関]経験したことや調べたことなどについて，進んで書こうとする。 (レシピ作りの様子) [書]構想メモをもとに書く。　(説明書)
4　説明書を見せ合い，感想を伝え合う。（2時間　本時1／2） ★食品の作り方や文の書き方に目を向けて，相互評価できるようにする。 ★自分のレシピのよさが，よく伝わるような話し方ができるようにする。	「ミラクル大豆レシピ」ができたよ。みんなに読んでもらいたいな。 みんなはどんなふうに書いているのかな。 友達のレシピの良いところを見つけ合おう。 良いところを見つけてもらって，自信がついたよ。 ４年生に「ミラクル大豆レシピ」を紹介しよう。	[話・聞]絵や本・掲示物などを見せながら話す。 (紹介の様子・学習の記録)

６　本時の学習

（１）本時の目標

①学習者の活動目標

友だち同士で「ミラクル大豆レシピ」を読み合い，紹介の仕方を考えよう。

②指導目標

友達と読み合うことによって自分の説明書のよいところに気付き，紹介の仕方やことばを考えることができるようにする。

（２）展開

学習活動	指導上の留意点	身に付けさせたい力	評価の資料
１　本時の学習のめあてをつかむ。	○前時の学習を振り返り，友達同士で説明書を読み合い，紹介の仕方やことばを工夫することに意欲がもてるようにする。		
２　友達の説明書を読み，表現の工夫やよさを見つける。	○分かりやすい文の書き方や魅力的なことばに目を向けさせ，よいところに気付いて付箋に書き，伝え合うようにする。	○好きな表現やおもしろいところを見付ける。	・付箋の活用の様子 ・発言内容
３　分かりやすい紹介を考える。	○作ったときの気持ちや友達の意見を参考にして，紹介ができるようにする。 ○紹介したいところに焦点を当てて話すことができるように助言する。	○経験したことや見聞きしたことに感想を添えて話す。	・発言内容 ・ふりかえりカードの記述内容
４　本時の学習を振り返り，次時の学習に意欲をもつ。	○次時は，４年生に紹介する練習をすることを確認し，早く紹介したいという意欲がもてるようにする。		

（３）本時の評価

「十分満足できる」状況	自分で説明や感想を自由に加えて,分かりやすく紹介している。
「おおむね満足できる」状況にするための指導	学習の手引きにしたがって簡単なメモを書いて，話すことができるようにする。